

# 会 議 録

平成23年4月28日調製

審議会等名	平成22年度 第3回 社会教育委員会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成23年3月17日(木) 午後3時30分～5時00分		
開催場所	三条東公民館 多目的ホール2	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	社会教育委員 棚橋正明委員 桑原 理委員 安藤正之委員		
	阿部凉子委員 廣川邦夫委員 長田美智留委員		
	中村保夫委員 山田宏高委員 横山正美委員		
	本山昭格委員 阿久津文雄委員 杉野真司委員		
	三条市	宗村市民部長 金子生涯学習課長 捧中央公民館長	
		小林文化振興係長 山田主事	
	(欠席者) 目黒徳一委員 杉野真司委員		
議 題	(1) 平成22年度生涯学習等事業報告について		
	(2) 平成23年度三条市の社会教育・生涯学習(案)について		
報 告	(1) 社会教育委員と公民館運営審議会委員の兼務について		
	(2) 生涯学習課・中央公民館との業務改善について		
	(3) その他		
発言内容等			
廣川議長	<開会のあいさつ>		
宗村部長	<市民部長あいさつ>		
廣川議長	次第に従い議題(1)「平成22年度生涯学習等事業報告について」事務局より説明願いたい。		
金子課長	資料に基づき生涯学習課等の事業について説明したい。なお、多くの事業があることと、11月の会議において中間報告を行っていることから、主な事業を中心に説明したい。		
	成人式について、東北地方太平洋沖地震の甚大な被害を鑑み、7月18日に延期となった。次に越後瞽女唄顕彰事業について、今年度は「木下晋の鉛筆画展」を実施した。この際に展示したもののうち2点を購入した。次		

	<p>に、音楽公演について、東北地方太平洋沖地震の影響で未実施となった。ジュニア文化振興事業について、今年度はジュニア合唱団と実施に向けての検討を行った。次年度は拡充した形で実施していきたい。次に漢学の里コンサートについて、12月5日にクラヴィコードという古楽器を使ったコンサートを実施し、81名の参加があった。芸術鑑賞ツアーについて、県内外の劇場や美術館での芸術鑑賞を行ない、今年度は、歌舞伎、宝塚、日展など開催した。なお、佐渡裕指揮 BBC フィルハーモニック with 辻井伸行新潟公演については震災の関係で中止となった。子ども読書推進計画策定について、現在第二次推進計画の策定中である。子ども文化教室については、学校の空き教室を活用し実施している。次年度はジュニア文化振興事業に統合することで検討している。中心市街地歴史的建造物調査について、町家7件の調査を行い、現在報告書の作成を行っている。文化財総合調査については連光寺の調査等を行った。文化財講演会について、昨年度指定文化財に登録された本都寺の仏像についての講演会を行った。発掘された森町の遺跡展は、漢学の里で実施し、409名の参加があった。歴史的建造物総合調査は中心市街地以外の建物調査を行ない本成寺の二重の塔などの詳細調査などを行った。</p>
廣川議長	<p>続いて、公民館事業の説明を願いたい。</p>
捧公民館長	<p>公民館事業について、それぞれの事業の充足率や受講率、そのほかのアンケート結果を掲載した資料を事前にお配りし、目を通していただいているため、後ほど質問を受ける事としたい。</p>
金子課長	<p>続いて、図書館等の事業報告を行う。利用状況としては、登録者数は全体的に伸びているが、利用人員として、図書館本館の来館者が、大人が5,000人、子どもが2,000人減少となっている。また、嵐南分室についても減少となっているが、栄分館の整備にともない、栄分館の利用があがっているための減少であると考えている。</p> <p>次に、歴史民俗産業資料館について、様々な展示を行っており、その中でも、「三条の記憶展」として、昔の三条の町並みや風俗等を展示し、好評であったため、次年度も継続して実施していきたい。</p> <p>次に諸橋轍次記念館について、京都大学大学院教授である阿辻哲次先生を講師に、大人のための漢字塾「漢字を楽しもう」や諸橋轍次博士記念全国漢詩大会など、さまざまな事業を展開した。次年度は指定管理者制度に移行し、株式会社図書館流通センターが運営していくこととなる。なお、株式会社図書館流通センターが大漢和辞典の発行元である大修館書店と連携して運営を行っていく。</p> <p>次に、青少年育成センターについて、「私のメッセージ」や「青少年ふれ</p>

	<p>あいコンサート」などの青少年育成市民会議と連携する事業の実施や、健全育成啓発などを行った。</p> <p>最後に、子育て支援課について、家庭教育事業として、年代別に分け、4つの家庭教育講座を実施するほか、出前講座を実施した。放課後子ども教室について、今年度新たに保内小学校と月ヶ丘養護学校で立ち上がった。また、当初予定していた裏館小学校については、現時点で立ち上げに十分な体制を整えることが困難であることから、学校改築後に新校舎のスペース活用など、検討していくこととしている。</p>
廣川議長	今の説明について、意見等あれば発言願いたい。
山田委員	子ども・若者総合サポートシステムについて、社会教育委員会議の中でも今後は検討されるのか。
金子課長	幼児から30代の働く青少年までのサポートシステムについては、学校教育課あるいは子育て支援課が管轄しており、会議の内容としては出ていないが、立ち上げから1年が経っている。
山田委員	サポートシステムが稼働し始めたことを掲載してもらいたい。
棚橋委員	通学合宿について、伝統的に実施されているが、充足率があまり高くない。また、毎年同じ子が参加しているようにも感じるため、リピート率が分かればお教えいただきたい。
捧公民館長	平成22年度から、三条地域を嵐南、嵐北地域に分け、嵐北地区と下田地区で1回目を実施し、嵐南地区と栄地区で2回目を実施した。80名の定員のところ25名の参加となっている。今年度は時間がなく、校長会での呼びかけが出来なかった事や、丹念に学校を回れず、チラシを撒くだけでの呼びかけになってしまったことなどにより参加が少なかったように感じている。次年度は参加が増えるようにPR努めたい。また、リピート率について、嵐南・栄地区については6年生のみを対象に行っているため、リピートとゆうことはない。また、もう一方については5・6年生を対象に行っているが、リピーターは1名程度である。
棚橋委員	学校も多くの事業を行っている中で、このように参加者がポツポツとしかいないようでは、どれほどの効果が出るのかが見えない部分があるため、今まで以上に学校への説明を行なって欲しい。
捧館長	通学合宿のような体験的な学習を社会教育の一環で行うことは重要であると、教育長や学校教育課などとも話し合っている。平成13年度頃に、学校週五日制の導入に併せる形で下田地域で取り組みが始まり、異年齢の子どもたちの交流を行うことを目的に始まった。三条地区に取り組みを広げたことで、最初の意図が若干薄らいできているかもしれないが、各学校の子どもたちが集まって交流し生活体験をすることは有意義なことだと感じ

	<p>ており、学校教育課と打合せをした中で色々な形を考えながら、もう1回2回は実施していきたいと考えている。</p>
阿部委員	<p>図書館について、指定管理者制度に移行してから開館時間を延長しているが、それほどの効果がないのではないかと。また、夏場の開館時間を早めることを検討してはどうか。</p> <p>次に図書館内が汚くなっており、暖房が入る時期も遅く指定管理者制度に移行したことにより、負の影響が出ているのではないかと。利用者の声をとってはどうか。</p> <p>最後に、子育て支援課が実施している中学校就学時家庭教育講座について、講師の選定はどのように行われているのか。</p>
金子課長	<p>図書館について、定期的な報告会を実施しており、その都度担当者から指摘を行っているが、館内の環境整備については適切に指導をしていきたい。なお、利用者からの意見箱を設けており、その都度意見を的確に反映するようにしている。</p> <p>次に時間延長について、指定管理者制度に移行し、時間延長をした事によって、直営時代から比べると利用者は大きく増えており、効果は出ているが、今年度は昨年度と比べて利用者が減少しているため、今後どのように利用者を伸ばしていくか再検討が必要である。</p>
廣川議長	<p>しばらくして意見等がないようなので議題2「平成23年度三条市の社会教育・生涯学習（案）について」事務局より説明願いたい。</p>
金子課長	<p>重点目標については、事前に各委員から頂いた意見を反映する形で作成した。事前に目を通していただいているので、質問等あれば後ほどお願いしたい。また、各事業については主だったものを中心に説明したい。</p> <p>生涯学習事業としては、社会教育委員会議は年3回の実施を予定している。成人式について、延期した22年度の成人式と、次年度対象者の成人式をそれぞれ実施予定である。</p> <p>芸術文化事業については、文化芸術振興に関する懇談会を立ち上げ方策について、検討していく。音楽公演についてはJAZZを予定している。芸術鑑賞ツアーについては、回数を増やし9回の実施を予定している。ジュニア文化事業としては、文化団体協会とすりあわせをする中で、どのような教室が開設できるか検討している最中である。音楽交流イベントについては、若者の交流を目的として実施したい。</p> <p>文化財事業については、三条かぐら鑑賞会について、40回目を迎えることもあり、例年午後のみ開催であったが、1日の実施としたい。ふるさと再発見事業について、鍛冶の発祥、小路のいわれ、たこ合戦のルーツについての調査を行う予定である。文化財総合調査について、昨年度山田</p>

	委員が言われていた「まぶ」について、今年度は大学から調査を断られた為、次年度も継続して計画していく。
捧館長	<p>公民館の重点目標については、生涯学習課の重点目標に習った形で作成している。各公民館の事業については、特色のある事業のみ紹介していく。</p> <p>中央公民館については、ボランティア活動による公民館事業の充実や、「通学合宿事業」、「みんなで農業」などを実施していく。嵐南公民館については、高齢者教室が充実している。三条東公民館については、「市民総合大学」として、公募により市民より講師を募集して市民による講座を実施していく。井栗公民館については、青少年教育で「子どもの季節のお菓子作り」を予定している。この地区には酪農家がいるため、地域資源を活かす形で実施していく。本成寺公民館については、青少年教育として、「体験講座」としてお寺の生活体験などを行っていく。大崎公民館については、青少年教育として、大崎山を活用した事業を実施していく。この他体育レクリエーション大会など地区をあげての取り組みをコミュニティなどと協力しながら実施していく。大島公民館としては、スポーツ健康事業として「大島スポーツカーニバル」を駅伝を取り入れて地域をあげての事業を実施する。栄公民館としては、青少年教育として「週末体験教室」を土日に8回連続の体験教室を予定している。高齢者教室として「いちい大学」の実施を予定している。下田公民館については、成人教育の中に「女性セミナー」として女性にターゲットを絞った事業の実施を予定している。また、例年実施している「下田文化祭」については、地区を上げて盛大に実施していく。</p>
金子課長	<p>図書館事業について、第二次子ども読書推進計画に沿って読書活動の推進を図っていく。その中でも「子ども読書相談窓口」の拡大を図っていきたい。また、毎月23日を「さんじょう親子読書の日」とし、家のテレビを消して、家族で読書をする日とするなど、読書活動の推進を図っていく。</p> <p>歴史民俗産業資料館事業について、新しい企画として、竹石安文展の実施や、三条の技展の実施や、今年度人気のあった三条の記憶展などの実施を予定している。</p>
廣川議長	今の説明について、意見等あれば発言願いたい。
棚橋委員	放課後子ども教室や各種習い事など、子どもの取り合いにならないように事業の調整等していただきたい。
山田委員	今説明いただいた事とは違うが、下田地区は公民館推進員が青少年指導員となっていたが、合併後継続して実施している青少年指導員がいないため60歳以上の方たちを組織化して青少年指導員をしてもらうことは出来ないか。自治会長協議会に頼む事なども考えているが、良いアイデアがあれば意見を頂きたい。また、「まぶ」の調査について、土地改良区へも声

	をかけていただきたい。
安藤委員	P T A連合会の立場から話をさせてもらおうと、確かに下田地区の青少年指導員の不足については問題になっている。特に継続していくことが難しく問題となっている。三条地区と違いP T Aの絶対数が少ない。年齢的に、60歳以上の方には厳しいかもしれないが、組織化できるならありがたい。
棚橋委員	本当に指導員が必要なのかどうか再検討することも必要である。以前P T A活動で巡回したが、子どもたちの姿をあまり見かけなかった。
阿部委員	文化財の指定について、明暗寺の虚無僧を指定して欲しいとの話を聞いている。また、諸橋轍次記念館について、指定管理者制度の導入に伴い、地域に密着しないような運営にならないようにしていただきたい。
金子課長	明暗寺の件については以前から話は伺っているが、昔からどのように伝わってきたのか調査をしてからでないと、指定文化財とすることは難しい。現状としては文化財指定にかかる俎上に上がっていない状況である。 諸橋轍次記念館については、今の事業を継承することとなっており、更に新しい事業をすることとなっている。
山田委員	地域意識が高い地域なので、指定管理者にその旨しっかりと指導を行ない、地域密着で運営をしていただきたい。
廣川議長	では、次に報告事項について、まとめて事務局より説明願いたい。
金子課長	社会教育委員と公民館運営審議会の兼務については、次年度から行って行きたい。研修が多くあるため、まずは3回の審議会と研修を実施していきたい。その上で、審議会の回数等を検討していきたい。 業務改善については、生涯学習課と中央公民館が一体の組織となり、9月を目処に事務室の改修を行ない中央公民館を事務室とする。また、市全体の職員適正化計画では、平成27年度を目処に正職員13名の体制を7名とする計画でいる。平成23年度の職員体制は資料の通りとなる。 次に、施設の利用料金について、現状の料金体系から、一律時間額とするものであり、平成23年6月からの利用に適用される。なお、中央公民館と三条東公民館においては、平成24年4月1日からの適用となる。この他、減免基準について、平成23年度に体育協会や文化団体協会など使用の主要団体を含んだ形での検討委員会を財務課で設け、基準の見直しを行っていく予定である。
廣川議長	今の報告を受けて確認事項等あれば発言願いたい。
安藤委員	減免基準見直しにかかる検討委員会はいつ立ち上がる予定でいるのか。
金子課長	財務課で所管しており6月くらいまでに設置されるのではないのか。
棚橋委員	教育委員会サイドの話はではあるが、一中学区と三中学区において実施していたコミュニティスクールの2年間が終わるため、平成23年度から

	は、地域の方から学校運営に参加してもらう形でのコミュニティスクールが立ち上がるようである。見方によっては学校の中に公民館があるようなイメージであり、生涯学習課との連携が必要になってくる。
廣川議長	それでは、本日用意した議題は全て終了いたしました。長時間に渡る熱心な議論に感謝する。最後に横山副議長よりあいさつ願いたい。
横山副議長	<閉会のあいさつ>

17:00閉会